

平成19年度実施事業 事業評価シート

事業名:	石狩湾ニシン資源栽培漁業振興協議会負担金	3-3
・運営の方法(1:直営、2:民間委託、3:補助、4:その他)	複数回答可	4
・事務の分類(1:自治事務、2:法定受託事務)		1

担当部課	企画経済部 農林水産課 林業・水産担当	直通電話	72-3164
担当部長	佐々木 隆哉	担当課長	配野 秀樹
		担当者	藤原 信幸

<b>1 事業のアウトライン</b>			
(1)事業概要及び交付金額等の積算根拠	ニシン放流事業を実施する「石狩湾ニシン資源栽培漁業振興協議会」(構成員:石狩市、石狩湾漁業協同組合)に対し負担金を拠出する。 ・均等割 1,500千円		
(2)事業開始年度	平成14年度	(3)事業終了年度	未定
(4)総合計画での事業体系	テーマ	元気で活力あるまち	
	施策項目(大)	水産業の振興	
	施策項目(小)	つくり育てる水産業の確立と後継者などの育成	
	施策コード	30201	

<b>2 事業の内容</b>	
(1)事業の目的 何のために	ニシン資源の増大を図り、漁家経営の安定化を図る。
(2)目指す成果 何をどんな状態にする(何がどんな状態になる)ように	ニシン資源の増大を図る。
(3)事業の方法 どんな手段を講じるのか	協議会に対し負担金を交付する。 5月中旬に古潭漁港、群別漁港、石狩湾新港に60ミリ魚を放流する。
(4)19年度に改善した事項、重点的に取り組んだ事項	
(5)事業の背景・社会状況・他の類似事業など	日本海さけ・ます増殖事業協会負担金
(6)事業の立案や実施における協働の視点	

<b>3 事業に投入した行政資源</b>				
区分	H17	H18	H19	H20予算
(1)直接事業費(千円)	500	1,500	1,500	1,500
(2)その他の間接経費(千円)				
(3)従事正職員の人件費(千円)	863	829	897	
総事業費((1)~(3)の合計:千円)	1,363	2,329	2,397	
事務に従事した正職員延べ人数	0.10	0.10	0.10	

<b>4 交付団体の予算・決算 (単位:千円・%)</b>											
収入	区分	H17	H18	H19	H20予算	支出	区分	H17	H18	H19	H20予算
	市補助金等(A)	500	1,500	1,500	1,500		育成費等	3,378	2,655	2,531	320
	受入負担金等	1,878	1,984	922	7,229		繰越金		829	720	
	繰越金			829	720		負担金				9,129
	厚田村・浜益村補助金	1,000									
	計(B)	3,378	3,484	3,251	9,449		計	3,378	3,484	3,251	9,449
	(A/B)	14.8	43.1	46.1	15.9						

<b>5 事業活動の結果 (単位:千円・%)</b>					
活動指標名		H17	H18	H19	H20
稚魚放流数(千尾)	目標値	738	532	600	730
	実績値	987	686	519	
	達成率	133.7	128.9	86.5	
	目標値				
	実績値				
	達成率				
	目標値				
	実績値				
	達成率				

6 事業の成果		(単位:千円・%)			
成果指標名		H17	H18	H19	H20
漁獲量 (トン)	目標値	190	200	505	280
	実績値	224	204	698	
	達成率	117.9	102.0	138.2	
漁獲高(千円)	目標値	105,000	160,000	202,000	168,000
	実績値	167,235	185,612	380,562	
	達成率	159.3	116.0	188.4	
	目標値				
	実績値				
	達成率				

7 事業の観点別評価		担当課長が評価します。	
(1) 必要性			
ア 市民ニーズ	1 大きい	2	
社会経済情勢の変化に対する市民ニーズはどうか	2 普通		
	3 小さい		
イ 市の関与	1 行政にしかできない	2	
その事業に市が関与する必要があるかどうか	2 民間等でもできる		
	3 民間等でやるべき		
(2) 効率性			
ア コスト削減	1 不可能である	2	
コスト削減は可能か	2 難しい		
	3 可能である		
(3) 公平性			
ア 受益者負担	1 不可能である	2	
さらなる受益者負担は可能か	2 難しい		
	3 可能である		
(4) 有効性			
ア 施策との関連	1 密接な関連がある	1	
事業の成果と施策の成果とに関連があるか	2 関連がある		
	3 関連はほとんどない		
イ 成果	1 すべて達成している	1	
事業の成果は目標を達成しているか	2 一部達成している		
	3 達成していない		
ウ 事業内容	1 極めて妥当	2	
目指す成果の実現を図る上で、今の事業内容は適当か	2 一定の妥当性あり		
	3 妥当性が低い		
(1)～(4)の評価ポイント合計			
総合評価の参考にご覧ください。			
7～11		A or B	12
12～15		B or C	
16～21		D or E	

8 課長評価		担当課長が評価します。	
(1) 平成19年度事業の総合評価			
B	評点の意味 (A:極めて良好、B:良好、C:可も不可もない、D:問題がある、E:大きな問題がある)	ニシンのふ化技術が確立され、漁獲量が増加しており、事業内容は良好と判断する。	
(2) 今後の方向性・課題		引き続き事業は継続するが、今年度からは当協議会の上部組織である「日本海北部ニシン栽培漁業推進委員会」が実施主体となって、日本海沿岸の市町村及び漁業協同組合が協力して事業展開を図る。	
(3) 平成21年度の方向性			
*:担当課長	事業内容		
	現状維持	一部見直し	大幅見直し
事業規模	拡大方向		
	現状維持	*	
	縮小方向		
	統合		
	休・廃止		

↓ ここまで担当課長が記載した上で、パブリックコメントを実施し、市民意見を募集します。

9 課長評価に対する市民意見	

10 部長(市長)評価		課長評価に対する市民意見を踏まえて、部長職(もしくは市長)が評価します。	
(1) 平成19年度事業の総合評価			
B	評点の意味 (A:極めて良好、B:良好、C:可も不可もない、D:問題がある、E:大きな問題がある)	課長評価を了承する。	
(2) 今後の方向性・課題		ニシン種苗生産が北海道から民間(日本海北部ニシン栽培漁業推進委員会)に移行したことに伴い、本協議会は日本海委員会の事業費負担団体としての性格を強めているが、冬季の貴重な漁業資源であるニシンの安定的な漁獲を確保するため、今後も市が現行の方式で補助を継続していく。	
(3) 平成21年度の方向性			
:担当部長(もしくは市長)	事業内容		
	現状維持	一部見直し	大幅見直し
事業規模	拡大方向		
	現状維持		
	縮小方向		
	統合		
	休・廃止		